玉勝間

田舎に雅言の残れること　―品詞分解―

すべて（副）　田舎（格助・場所）に（係助・区別）は、　いにしへ（格助・体修）の　言（格助・主格）の
残れ（ラ四・已）る（存・体）　こと（形ク・終）多し。　ことに（副）　遠き（形ク・体）　国人（格助・主格）の　言ふ（ハ四・体）言
の（格助・体修）　中（格助・場所）に（係助・区別）は、　おもしろき（形ク・体）　ことども（係助・強意（係））ぞ
まじれ（ラ四・已）る（存・体（結））。　おのれ（代）　年ごろ（格助・対象）を　つけ（カ下二・用）て（接助・単接）、
遠き（形ク・体）　国人（格助・主格）の　とぶらひ来（カ変・用）たる（完・体）に（格助・対象）は（係助・区別）、必ず（副）そ（代）
の（格助・体修）　国（格助・体修）の　言葉（格助・対象）を　問ひ聞き（カ四・用）も（係助・同類）し、そ（代）
の（格助・体修）　人（格助・主格）の　言ふ（ハ四・体）言（格助・対象）を　聞き（カ四・用）も（係助・同類）、心（格助・対象）
て（接助・単接）　聞き（カ四・用）も（係助・同類）する（サ変・体）を（接助・逆確）、なほ（副）　国々（格助・体修）の　言葉ども（格助・主格）
を（格助・対象）　あまねく（形ク・用）　聞き集め（マ下二・用）な（完・未）ば（接助・順仮）、いかに（副）　おもしろき（形ク・体）　こ
と（格助・対象）多から（形ク・未）ん（推・体）。

近き（形ク・体）　ころ、　肥後（格助・体修）の　国人（格助・主格）の　来（カ変・用）　が（格助・主格）、
言ふ（ハ四・体）　こと（格助・対象）を　聞け（カ四・已）ば（接助・順偶）、世（格助・場所）に　「見える」「聞こえる」
いふ（ハ四・体）　類ひ（格助・対象）を、　「見ゆる」「聞こゆる」　など（副助・引用）　ぞ（係助・強意（係））
言ふ（ハ四・終）　こと（代）は（係助・提示）　今（格助・体修）の　世（格助・場所）に　は（係助・区別）
絶え（ヤ下二・用）て（接助・単接）　聞こえ（ヤ下二・未）ぬ（打・体）、　雅び（バ上二・用）たる（完・体）　言葉遣ひ　なる（断・体）
を（接助・順理）、　「そ（代）の（格助・体修）　国（格助・場所）にて（係助・区別）は、　なべて（副）　かく（副）　言ふ（ハ四・体）
に（断・用）　や（係助・疑問）。」　と（格助・引用）　問ひ（ハ四・用）　けれ（過・已）ば（接助・順偶）、「ひたぶる（形動ナリ・語幹）の　賤、
山がつ　は（係助・区別）　みな、　『見ゆる』『聞こゆる』『さゆる』『たゆる』　など（副助・例示）
やうに（比・用）　言ふ（ハ四・体）を（接助・逆確）、　少し（副）　言葉（格助・対象）を（係助・同類）も　つくろふ（ハ四・体）　ほ
ど（格助・体修）の　者（係助・区別）は、　多く（副）　『見える』『聞こえる』　と（格助・引用）

やうに（比・用）言ふ（ハ四・体）なり。」（断・終）と（格助・引用）ぞ（係助・強意（係））語り（ラ四・用）ける。（過・体（結））そ（代）

は（係助・区別）なかなか（副）今の（格助・体修）世の（格助・体修）卑しき（形シク・体）言ひざまなる（断・体）

を、（接助・逆確）なべて（副）国々の（格助・体修）人の（格助・主格）言ふ（ハ四・体）から、（接助・理由）そ（代）

を（格助・対象）よき（形ク・体）ことと（格助・引用）心得（ア下二・用）たる（完・体）な（断・体（撥音（無表記）））めり。（定・終）

いづれ（代）の（格助・体修）国にて（格助・場所）も、（係助・同類）賤、山がつの（格助・主格）言ふ（ハ四・体）言

は、（係助・区別）よこなまり（ラ四・用）ながら（接助・逆接）も、（係助・同類）多く（副）昔の（格助・体修）言

を（格助・対象）言ひ伝へ（ハ下二・用）たる（存・体）を、（接助・逆確）人しげく（形ク・用）にぎははしき（形シク・体）里

など（副助・例示）は、（係助・区別）異国人も（係助・同類）入りまじり、（ラ四・用）都の（格助・体修）人

など（副助・例示）も、（係助・同類）ことに（副）触れ（ラ下二・用）て（接助・単接）来通ひ（ハ四・用）など（副助・例示）する（サ変・体）ほ

どに、（格助・時間）おのづから（副）ここかしこ（代）の（格助・体修）言葉を（格助・対象）

聞きならひ（ハ四・用）て（接助・単接）は、（係助・強意）おのれ（代）も（係助・同類）言選りし（サ変・用）て、（接助・単接）

なまさかしき（形シク・体）今やうに（格助・変化）移りやすく（形ク・用）て、（接助・単接）昔ざまに（格助・比基）

遠く、（形ク・用）なかなかに（副）卑しく（形シク・用）なん（係助・強意（係））なりもてゆく（カ四・終）める。（定・体（結））

まことや、（間助・呼掛）同じ（形シク・終）肥後の国の、（格助・同格）また（副）の（格助・体修）人

の（格助・主格）言へ（ハ四・已）る、（完・体）「か（代）の（格助・体修）国にて、（格助・場所）『ひきがへる』

と（格助・引用）いふ（ハ四・体）ものを、（格助・対象）『たんがく』と（格助・引用）言ふ（ハ四・体）なる（断・体）

は、（係助・提示）いにしへの（格助・体修）『たにぐく』の（格助・体修）よこなまりなる（断・体）

べく（推・用）おぼゆ。」（ヤ下二・終）と（格助・引用）語り（ラ四・用）し（過・体）は、（係助・提示）まことに（副）しか（副）

なる（断・体）べし。（推・終）こ（代）の（格助・体修）類ひの（格助・体修）こと、国々に（格助・場所）

なほ（副）聞け（カ四・已）る（存・体）こと多かる（形ク・体）を、（接助・逆確）今は（係助・提示）ふと（副）

思ひ出で（ダ下二・用）たる（完・体）ことを（格助・対象）言ふ（ハ四・体）なり。（断・終）なほ（副）思ひ出で（ダ下二・未）ん（婉・体）

ままに、（格助・状態）また（副）も（係助・同類）言ふ（ハ四・終）べし。（意・終）